

大槌町林野火災における釜石市消防団の活動

令和8年4月22日、大槌町小槌地区において林野火災が発生し、13時53分に消防へ通報が入りました。これを受け、釜石大槌地区行政事務組合大槌消防署及び大槌町消防団が出勤し、小槌地区で消火活動に当たりました。

同日16時28分には、大槌町吉里吉里地区においても林野火災が発生しました。

釜石大槌地区行政事務組合釜石消防署と釜石市消防団第6分団・第7分団が出勤し、吉里吉里地区での消火活動を実施しました。出勤した消防団員は、消防団本部6名、第6分団59名、第7分団22名で、消防車両13台が投入されました。消防団員は夜を徹して消火活動に当たり、延焼防止に尽力しました。

しかし、火災現場では防火水槽の貯水量が不足する状況となりました。また、

消防団には背負式散水装置が十分に配備されていなかったため、団員は唐鍬（とうくわ）を用いて火をたたくななどの地道な消火活動を行いました。

翌4月23日には、消防団本部7名、第1分団1名、第4分団8名、第5分団8名が出勤し、消防車両5台とともに午前5時から午後5時まで消火活動を継続しました。平日であったことから、活動は参加可能な団員によって行われました。

その後、遠野市、宮古市、大船渡市からの応援部隊が早期に到着したことにより、市消防団による大規模な消火活動は4月22日と23日の2日間で終了しました。

5月2日午後1時には鎮圧宣言が発表され、火災は沈静化しました。しかし、5月6日には大槌町城山地区で再び林野火災が発生

し、13時25分に消防へ通報が入りました。

今回の一連の林野火災において、消防団員は限られた装備と水利条件の中で昼夜を問わず消火活動に従事し、地域の安全確保のために大きな役割を果たしました。特に、厳しい環境下においても地域を守るために懸命な活動が続けた消防団員の献身は、高く評価されるべきものです。



現地指揮本部に集合した釜石市消防団

議員表彰

全国市議会議長会第102回定期総会において、議員在職10年以上の表彰を受けた議員に対し、表彰状と記念章の伝達を行いました。



千葉 榮 議員



佐々木 聡 議員